

# 柳津町森林利活用ビジョン

## 「宝の山」

スローガン  
4つの柱

施策の方針

アクション

「宝の山」を未来に繋げる取り組み

「宝の山」を磨き上げる取り組み

「宝の山」を守る取り組み

「宝の山」の新しい魅力を見つける取り組み

森林の境界明確化  
所有者の意欲向上  
木を伐る達人後継者育成

森林整備の推進  
林道整備の推進

自然と共生できる  
森林づくり  
安全・安心な森林づくり

観光に資する  
森林づくり  
遊べる・学べる・癒される  
森林づくり

担い手の育成事業  
（地域おこし協力隊等の活用）  
経営計画作成推進事業  
認可地縁団体活用  
推進事業  
森林経営管理制度  
森林境界明確化事業  
森林利活用ビジョン  
運営事業

町有林管理事業  
国庫補助金を活用した  
林道維持管理事業  
林道整備事業  
木材供給網構築に  
向けた取り組み  
森林認証取得などの  
取り組み

森林緩衝帯整備事業  
（再掲）  
林道維持管理事業  
（再掲）  
自然と共生できる森林  
づくり  
災害に強い森林づくり  
森林認証取得やJクレ  
ジット創出などの取組  
み（再掲）

柳津町の宝、会津桐  
利活用  
森林環境学習・県民  
参画の推進  
景観整備事業  
里山のシンボル、森  
公園再整備事業

### 「柳津町森林利活用ビジョン」に込めた思い

柳津町長 小林 功

- 柳津町森林利活用ビジョンにおける50年後にあるべき森林の姿を「未来に活かす「宝の山」」と決めました。
- 森林利活用ビジョン検討会においては様々な意見がありましたが、その中には過去に取り組んできた植樹から始まる森林整備は「将来世代に財産を残してあげたい」という強い思いを持ってやってきた」という意見がありました。
- 自分の子孫に財産＝「宝」を残してあげたいという思いは大変尊く、町の森林のあるべき姿に組み込むべきだと考え、今は材の値段が低く価値のない山とみなされていたとしても、未来の世代に向けて「宝の山」にして活かしていくという思いを言葉にしています。未来の文字は振興計画に則り、誰でも読めるようひらがなで表現しております。
- 会津人のほとんどが知っている民謡「会津磐梯山」には「会津磐梯山は宝の山よ」という歌詞が出てきます。また、柳津町にとっては柳津町と西山村の合併の際、100年杉が多くある大成沢や四ツ谷魚留の西山村村有林を「宝の山」として受け取ったという歴史があります。
- 会津磐梯山に広がる森林の恵みに対する感謝と山や森林への誇りが込められた一節にあやかるとともに、柳津町の歩んできた歴史を踏まえて、柳津町の山とそこに広がる森林全てが「宝の山」として感謝され、誇りに思われることを祈念してビジョンのスローガンとします。

令和7年3月〇日

## 柳津町森林利活用ビジョン スローガンと4つの柱

スローガン

# みらいに活かす「宝の山」

ビジョンの柱

「宝の山」を  
みらいに  
繋げる  
取り組み

「宝の山」を  
磨き上げ  
る取り組  
み

「宝の山」を  
守る取り  
組み

「宝の山」の  
新しい  
魅力を  
見つける  
取り組み

## みらいに活かす「宝の山」 ビジョンの4つの柱

「宝の山」をみらいに繋げる取り組みにより50年後どうなっていて欲しいか

- ・自分の森林がどこにあるのかわかっている。
- ・自分の持っている森林から様々な恵みを得られる実感を持てる。
- ・林業で働きたいという人が増えている。

「宝の山」を磨き上げる取り組みにより50年後どうなっていて欲しいか

- ・森林に人の手が入り、明るい森林になっている。
- ・森林に行くための林道がきちんと整備されている。

「宝の山」を守る取り組みにより50年後どうなっていて欲しいか

- ・大雨や台風などの災害でも被害が少ない強い森林になっている。
- ・クマなどの野生動物と人が棲み分けて暮らしている。

「宝の山」の新しい魅力を見つめる取り組みにより50年後どうなっていて欲しいか

- ・森林に興味を持って観光する人が増えている。
- ・大人も子どももみんなで行って楽しみながら学べる森林が増えている。